

高松空港環境 活動の報告

2025年5月30日
高松空港株式会社
空港運営事業部



目次

- P.1 高松空港エコエアポート専門部会
- P.2 高松空港の運用状況
- P.6 高松空港第2次環境計画
- P.7 各事業者における主な省エネ運動ご紹介
- P.8 高松空港2024年度（前年度比）環境活動報告
- P.10 最後に
- P.11 参考資料

高松空港エコエアポート専門部会

目的

高松空港内の事業者が環境問題を正しく理解し、問題意識を共有して、空港地域における環境の保全及び創造を進める施策を実施することにより、エコエアポートを実現することを目的とする。

活動内容

空港環境計画の策定

空港環境計画に基づく施策の実施

エコエアポートに関する教育及び啓発等の実施

その他エコエアポートを推進するために必要な活動

エコエアポート専門部会員(2024年度)

四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所
四国運輸局 交通政策部 環境・物流課
関西航空地方气象台 高松航空気象観測所
香川県 警察航空隊
香川県 防災航空隊
香川県 交流推進部航空振興室
日本航空(株)
全日本空輸(株)
エアソウル(株)
春秋航空(株)
中華航空

スターラックス航空
高松商運(株)
四国航空(株)業務部
四国航空(株)サービス事業部
(株)KAFCO
香川県バス協会
高松タクシー協会
香川県レンタカー協会
大阪航空局 高松空港事務所
高松空港(株)

高松空港の運用状況（高松空港(株)調べ）

高松空港の2024年度の運用状況は、年間着陸回数が**10,084回**、乗降客数が**2,134,660人**、貨物取扱量が**2,925t**となっており、前年度と比較すると年間着陸回数が**5.2%増**、乗降客数**15.5%増**、貨物取扱量**17.4%増**、郵便取扱量**3.5%増**といずれも増加しました。

運用状況推移

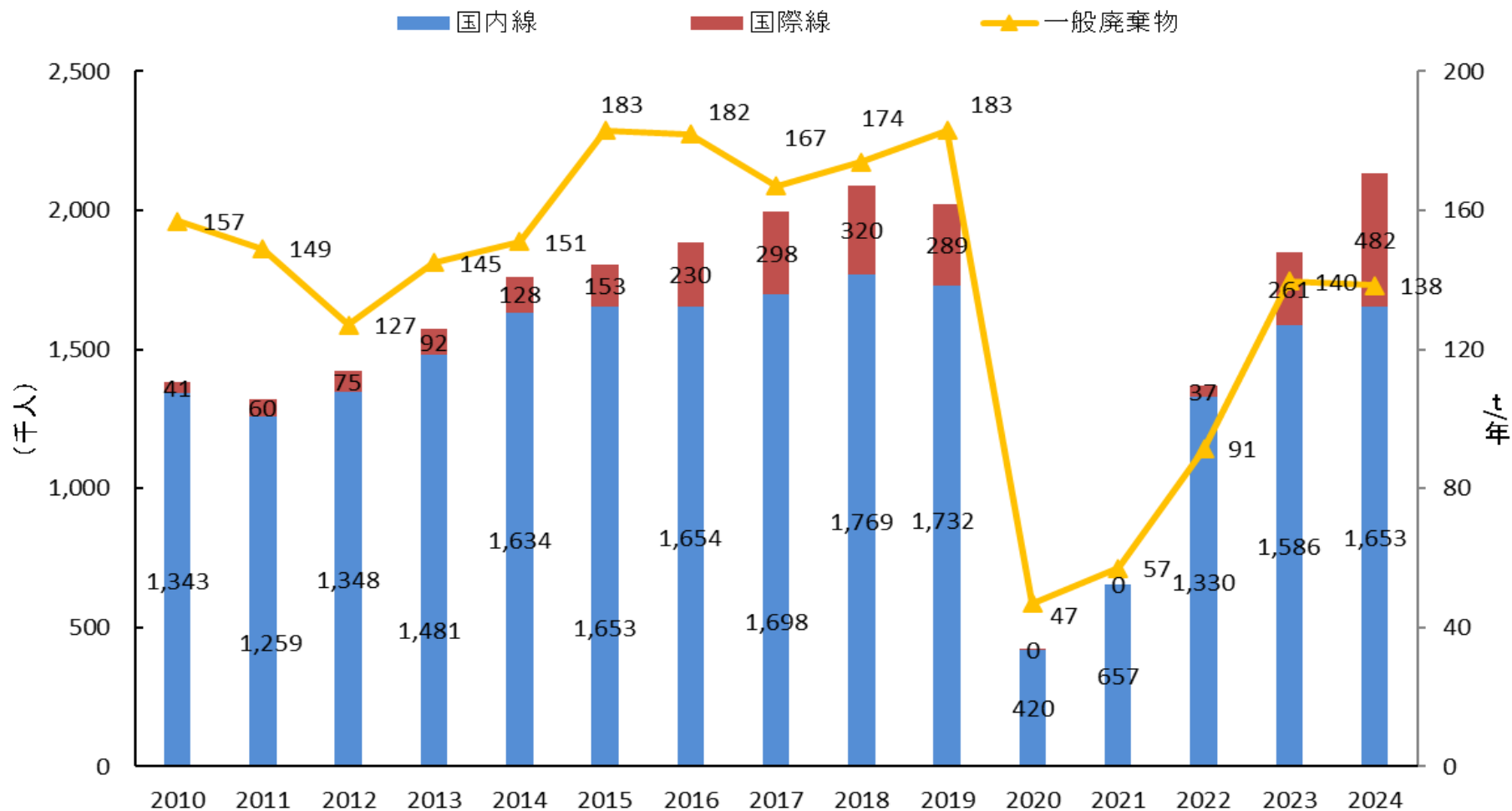
<参考>
定期便の状況(2025年3月現在)
<国内線>最大17往復／日
<就航先>東京・成田・沖縄
<国際線>最大6往復／日
<就航先>ソウル・香港は1日1往復、上海は週4往復
※3/30から夏季運航スケジュール(夏ダイヤ)となり、次の2路線は増便となった。
台北は週5往復から1日1往復へ増便
台中は週3往復から週5往復へ増便

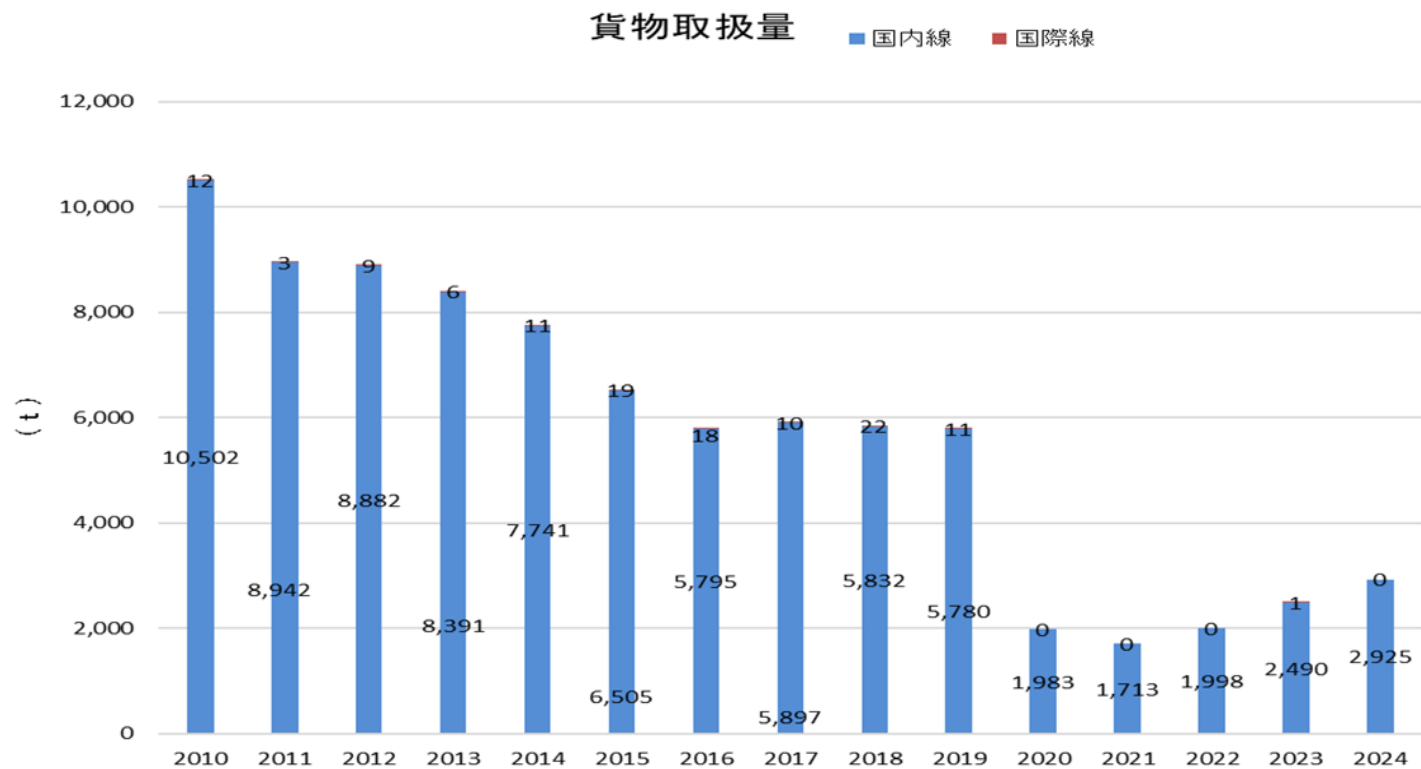
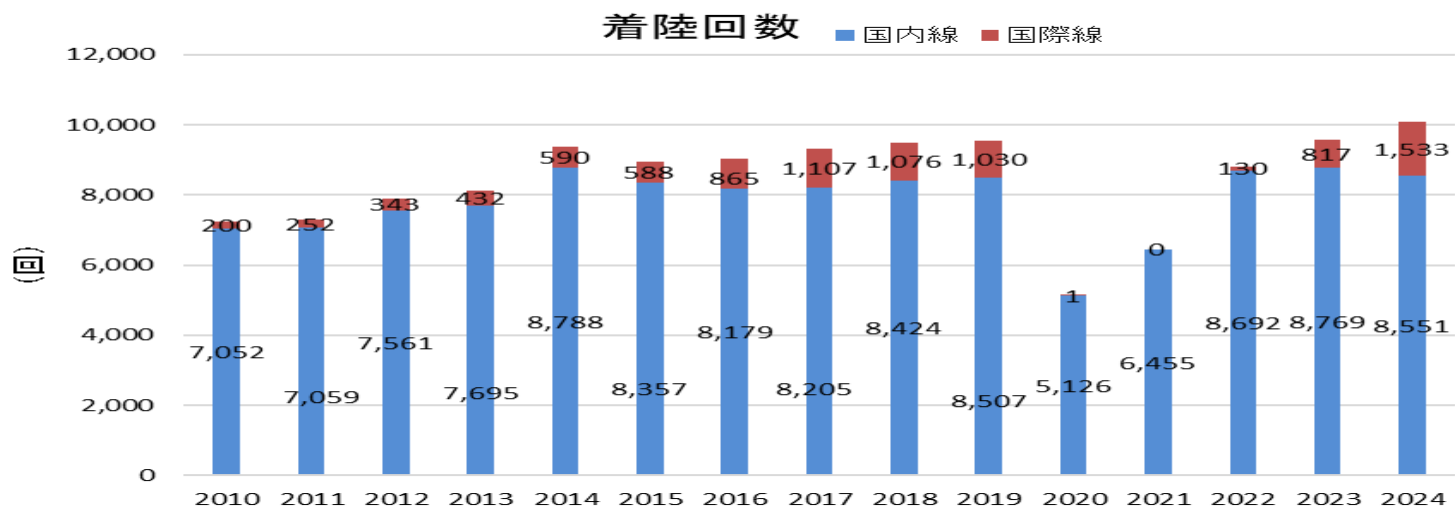
項目 年度	着 陸 回 数 (回)			乗 降 客 数 (人)								一般廃棄物
	国際線	国内線	計	国 際 線				国 内 線			合 計	
				乗客	降客	通過客	小計	乗客	降客	小計		
2008				17,795	19,141	0	36,936	710,473	714,006	1,424,479	1,461,415	183
2009				18,831	19,312	0	38,143	663,736	671,056	1,334,792	1,372,935	172
2010	200	7,052	7,252	19,824	21,472	0	41,296	670,045	673,094	1,343,139	1,384,435	157
2011	252	7,059	7,311	30,521	29,970	0	60,491	628,647	630,092	1,258,739	1,319,230	149
2012	343	7,561	7,904	37,847	36,699	0	74,546	672,658	674,927	1,347,585	1,422,131	127
2013	432	7,695	8,127	45,569	46,257	0	91,826	745,452	735,215	1,480,667	1,572,493	145
2014	590	8,788	9,378	64,807	62,935	0	127,742	820,610	813,256	1,633,866	1,761,608	151
2015	588	8,357	8,945	77,296	75,777	0	153,073	824,377	828,970	1,653,347	1,806,420	183
2016	865	8,179	9,044	115,665	114,310	0	229,975	823,712	830,106	1,653,818	1,883,793	182
2017	1,107	8,205	9,312	148,112	149,813	0	297,925	850,078	848,066	1,698,144	1,996,069	167
2018	1,076	8,424	9,500	159,771	160,577	0	320,348	884,515	884,963	1,769,478	2,089,826	174
2019	1,030	8,507	9,537	144,167	144,924	32	289,123	864,863	866,758	1,731,621	2,020,744	183
2020	1	5,126	5,127	78	0	0	78	209,883	209,755	419,638	419,716	47
2021	0	6,455	6,455	0	0	0	0	328,055	328,718	656,773	656,773	57
2022	130	8,692	8,822	18,204	19,161	0	37,365	661,416	668,982	1,330,398	1,367,763	91
2023	817	8,769	9,586	130,248	131,101	0	261,349	789,158	797,283	1,586,441	1,847,790	140
2024	1,533	8,551	10,084	239,033	242,547	0	481,580	821,915	831,165	1,653,080	2,134,660	138

貨物等取扱量の推移

項目 年度	貨物取扱量 (トン)							郵便取扱量 (kg)						
	国際線			国内線			合計	国際線			国内線			合計
	積	卸	小計	積	卸	小計		積	卸	小計	積	卸	小計	
2008	10	0	10	6034	5429	11,463	11,473	0	0	0	102,859	565,454	668,313	668,313
2009	2	0	2	6078	4624	10,702	10,704	0	0	0	71,344	464,236	535,580	535,580
2010	10	2	12	6924	3578	10,502	10,514	0	0	0	107,241	438,105	545,346	545,346
2011	2	1	3	5960	2982	8,942	8,945	0	0	0	121,912	412,615	534,527	534,527
2012	0	9	9	5470	3412	8,882	8,891	0	0	0	89,333	364,050	453,383	453,383
2013	0	6	6	5037	3354	8,391	8,397	0	0	0	86,082	345,973	432,055	432,055
2014	0	11	11	4657	3084	7,741	7,752	0	0	0	62,948	351,968	414,916	414,916
2015	4	15	19	3821	2684	6,505	6,524	0	0	0	53,807	345,690	399,497	399,497
2016	8	10	18	3,237	2,558	5,795	5,813	0	0	0	67,795	271,943	339,738	339,738
2017	10	0	10	3,242	2,655	5,897	5,907	0	0	0	74,867	283,461	358,328	358,358
2018	22	0	22	3,251	2,581	5,832	5,854	0	0	0	80,845	313,835	394,680	394,680
2019	11	0	11	3,313	2,467	5,780	5,791	0	0	0	64,804	270,042	334,846	334,846
2020	0	0	0	1,233	750	1,983	1,983	0	0	0	31,446	245,487	276,933	276,933
2021	0	0	0	972	741	1,713	1,713	0	0	0	49,505	250,369	299,874	299,874
2022	0	0	0	1,194	804	1,998	1,998	0	0	0	38,425	250,003	288,428	288,428
2023	1	0	1	1,613	877	2,490	2,491	0	0	0	63,019	231,921	294,940	294,940
2024	0	0	0	2,010	915	2,925	2,925	0	0	0	82,001	223,172	305,173	305,173

乗降客数及び一般廃棄物の推移





高松空港第2次環境計画

第2次基準年度・目標年度

基準年度 2015年度 目標年度 2025年度

環境目標(中間評価による目標)

大気・エネルギー

- ・CO2 総排出量の抑制に向けてエネルギー消費量を15%削減する。
(⇒2015年度比1.5%増 NG)

水・土壌

- ・航空旅客1人あたりの上水の使用量を5%削減する。
(⇒2015年度比11.5%減 OK)

廃棄物

- ・航空旅客1人あたりの一般廃棄物処分量を10%削減する。
(⇒2015年度比35.8%減 OK)
- ・一般廃棄物の資源回収率を向上させる。
(2015年度2.7%→2024年度27.6%
⇒2015年度比24.9%向上 OK)

高松空港における各事業者の主な省エネ運動のご紹介



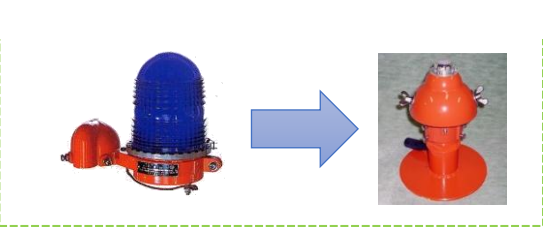
人感センサー付きエスカレーター

ターミナルビルではエスカレーター、トイレの照明等の人感センサーを設置、コンコースや待合室でのLED照明への変更、外気利用の採用など順次行われています。



熱反射フィルムの貼付(窓上部)

外からの熱を遮断して空調エネルギーを抑制しています。



航空灯火は、空港整備に係る改良工事において順次LEDへの変更予定です。

不要時(職員不在時、昼休み等)の消灯
蛍光灯の間引き使用、エアコンの抑制
使用しない機器の電源OFF
PC活用等によるペーパーレス化 等
ターミナルビルの不要時減灯



一般廃棄物分別回収コンテナ設置

ターミナルビルの各所に外国語対応表記のゴミ分別回収ボックスを設置し、外国旅行者も含めて利用客自身による廃棄物の分別を進めています。



節水ステッカー(部会配布)

パネル、案内掲示等による節水の呼び掛けをしています。



不必要灯火の消灯

設置義務のない航空障害灯の消灯
(水平表面下の物件(アンテナ鉄塔等))

2024年度 高松空港環境活動報告

2024年度の活動実施状況(前年度比・達成度)

1. 節水

節水(中水への上水供給量を削減)

(上水使用量56.1%増、中水使用量13.5%増)

⇒節水に努めているが、旅客数等の増加に伴い、上水使用量が増加、また、それに伴い、再生水である中水使用量も増加

2. 大気・エネルギー(CO2排出量の削減)

(1) 電気使用量の削減

(使用電力3.4%増加、CO2発生量3.2%増加)

⇒節電に努めているが、旅客数等の増加に伴い、電気使用量やCO2発生量が増加

(2) エコカーの導入促進

(エコカー1台増、ディーゼル車4台減及びガソリン車は1台増)

⇒徐々にエコカーへの導入は進んでおり、今後も推進

3. リサイクルの促進

(1) 1人あたりの一般廃棄物処分量の削減

(前年度比14.2%減で、1人あたりの廃棄物発生量は削減されており、過去最高水準)

⇒分別(回収)を継続して実施

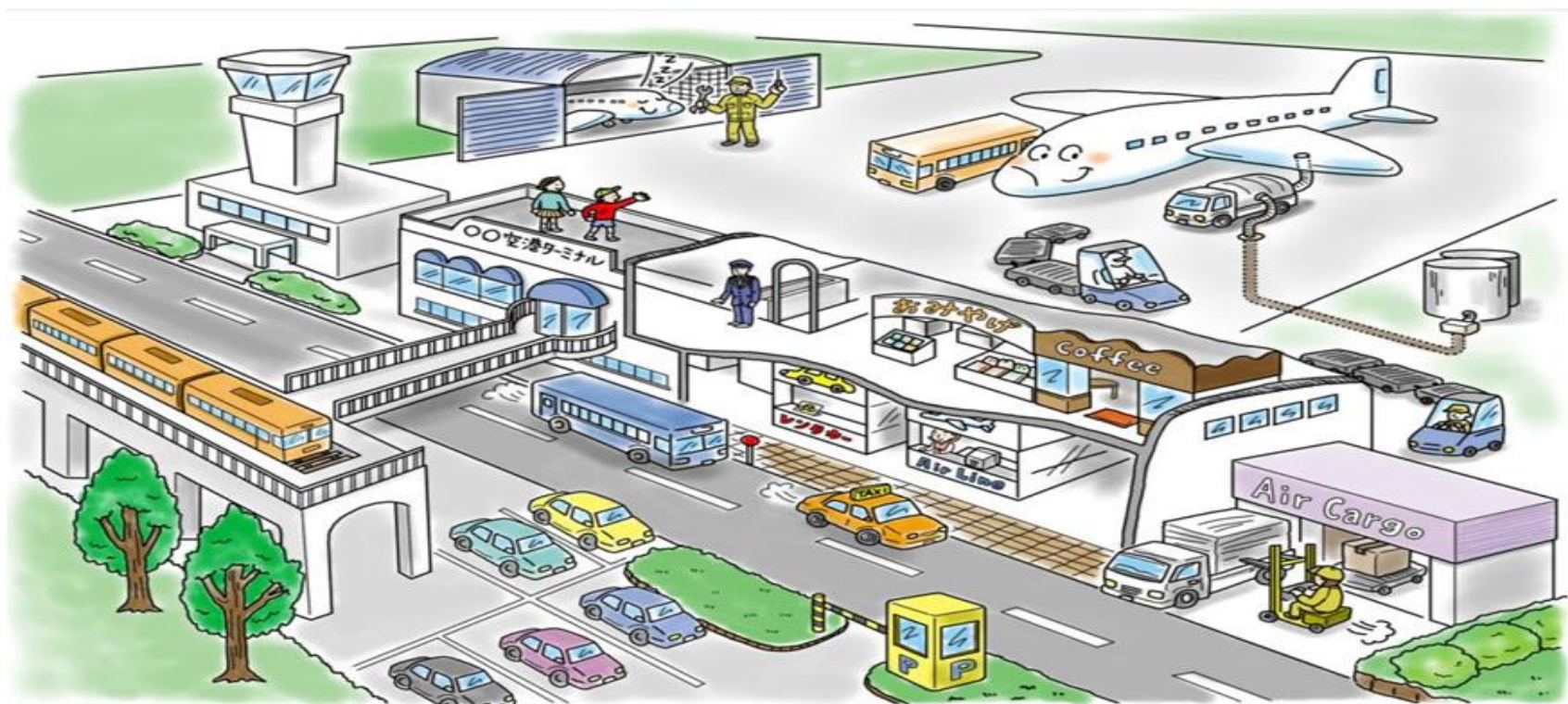
(2) ゴミ拾い運動への積極的な参加

(エアポートクリーン作戦への積極的な参加啓発活動)

⇒コロナ感染症予防対策として2022年度中止、以後開催しない旨、決定した経緯がある。

最後に

今後エコエアポート専門部会は、航空局より空港脱炭素化推進協議会と統合した新たな空港環境への枠組みの構築を検討していく旨の連絡を受けておりますので、今般が最終のご報告となります。



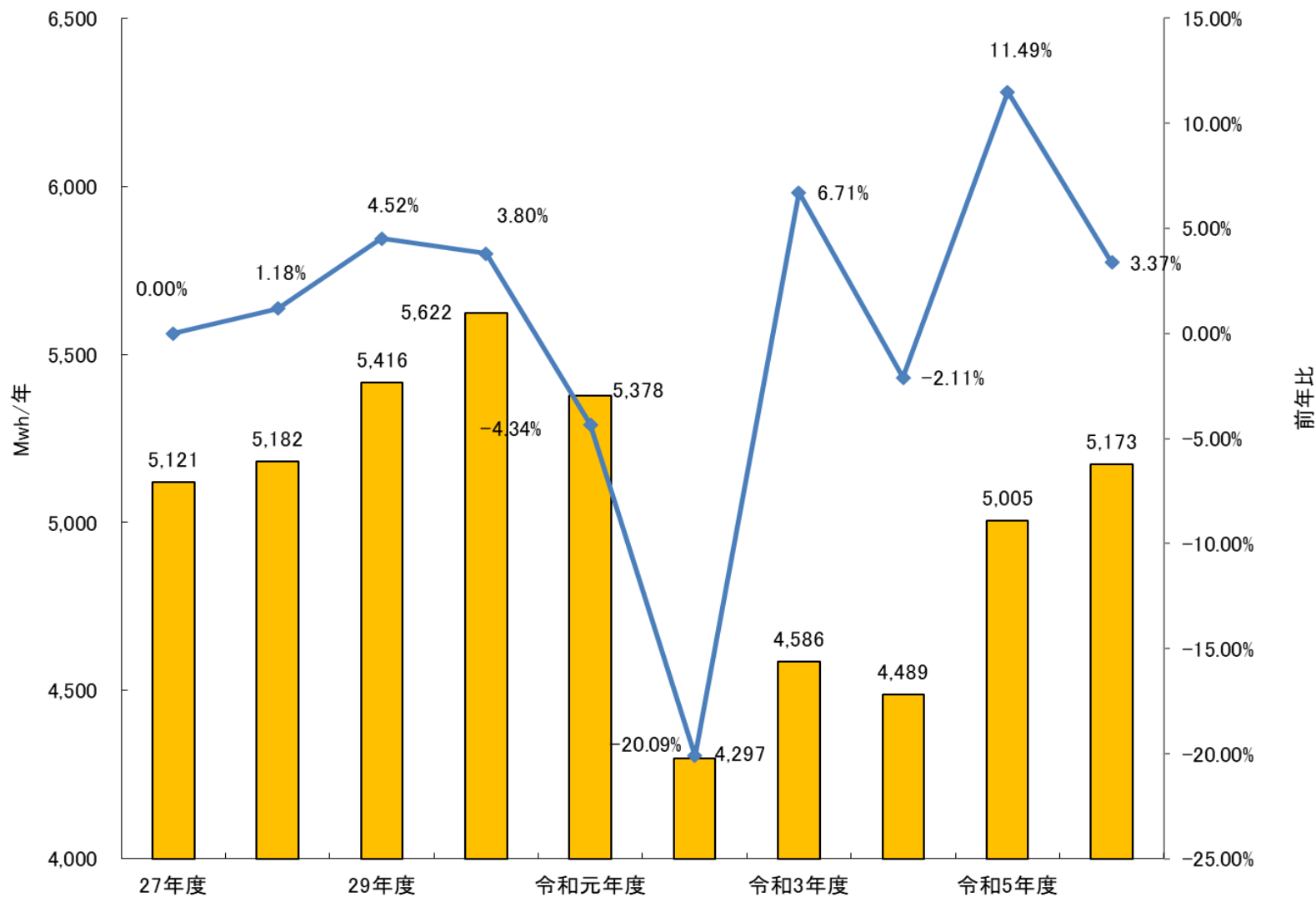
参考資料

【2024年度空港環境データ詳細】

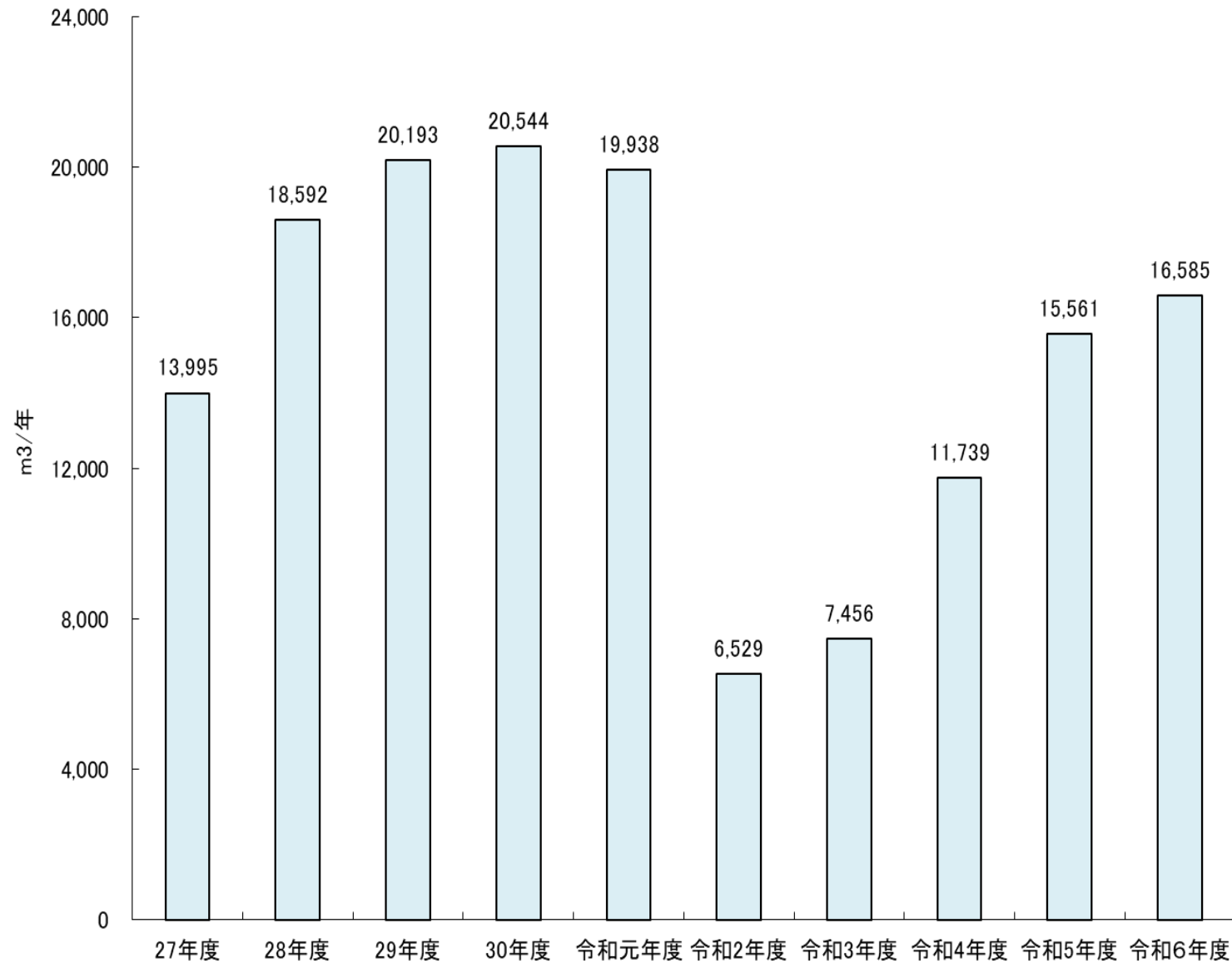
- P.13 電力使用量の推移
- P.14 プロパンガス使用量の推移
- P.15 軽油・ガソリン使用量(車両)の推移
- P.16 一般廃棄物のリサイクル率の推移
- P.17 水道使用量及び空港旅客一人あたりの上水使用量
- P.18 CO2排出量の推移
- P.19 車両保有台数
旅客一人あたりの一般廃棄物排出量の推移
- P.20 第2次高松空港環境計画における中間評価報告（抜粋）
- P.21 同上 目標・施策について

エネルギー使用量の推移

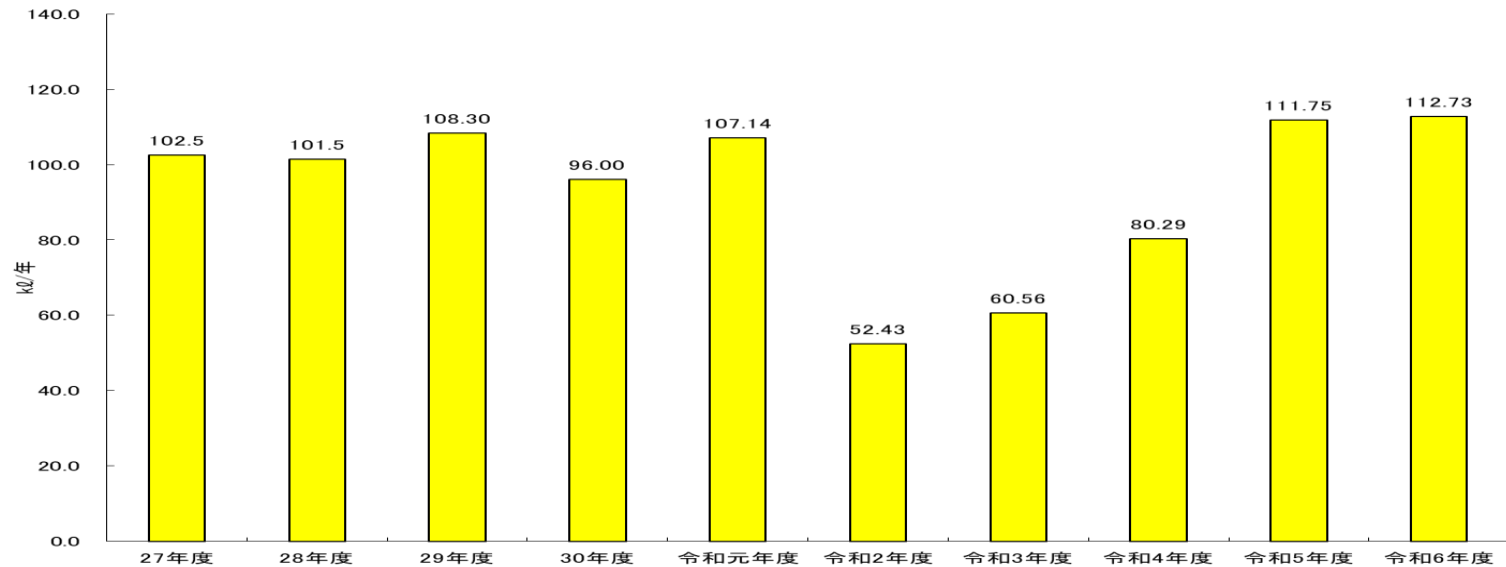
電気使用量の推移 Mwh/年



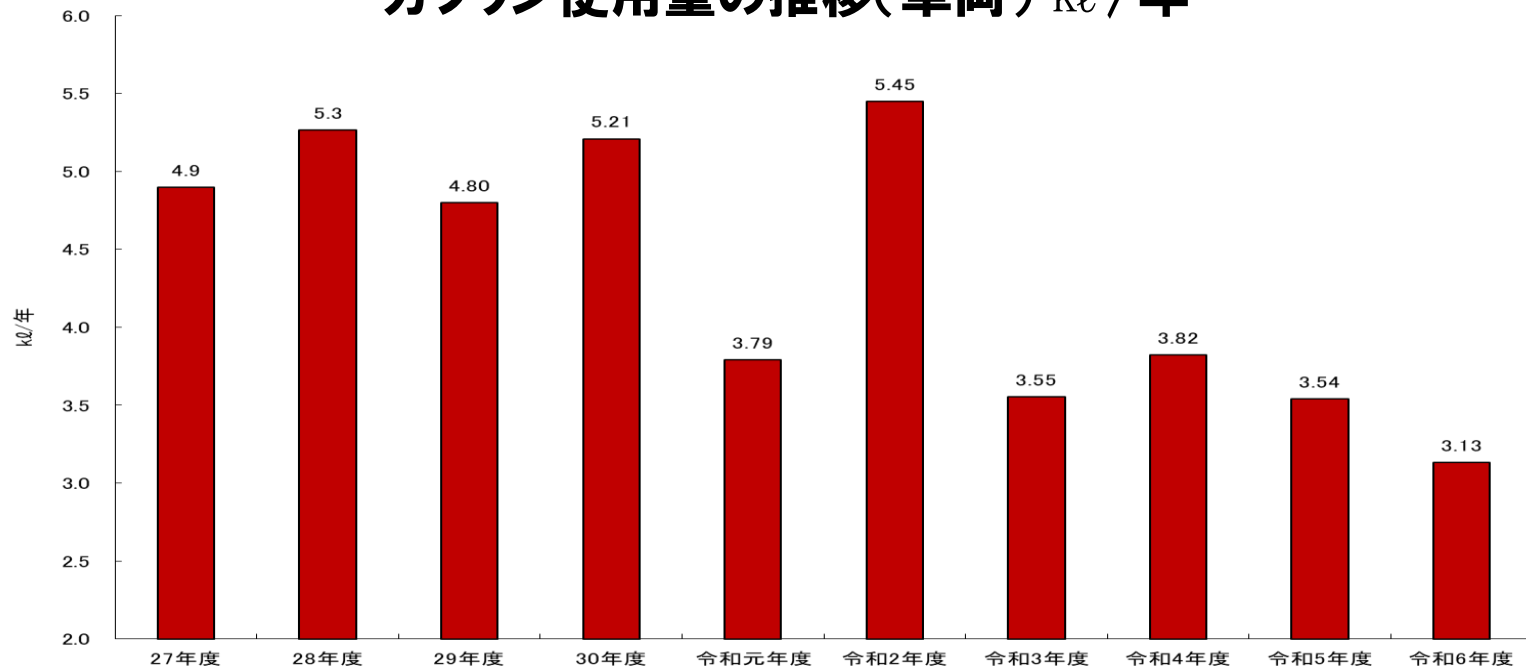
プロパンガス使用量の推移 $\text{m}^3/\text{年}$



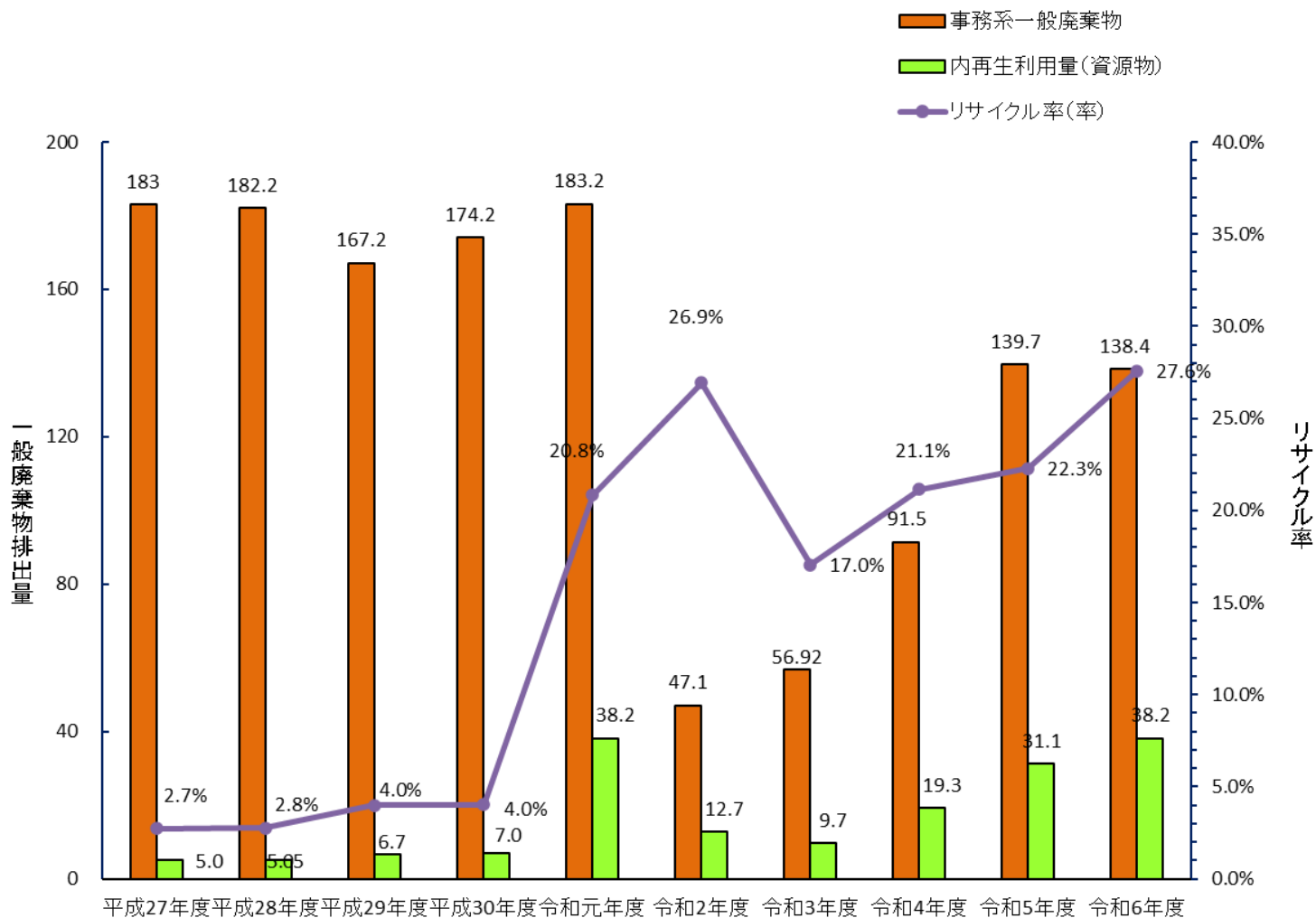
軽油使用量の推移(車両) $kl/年$



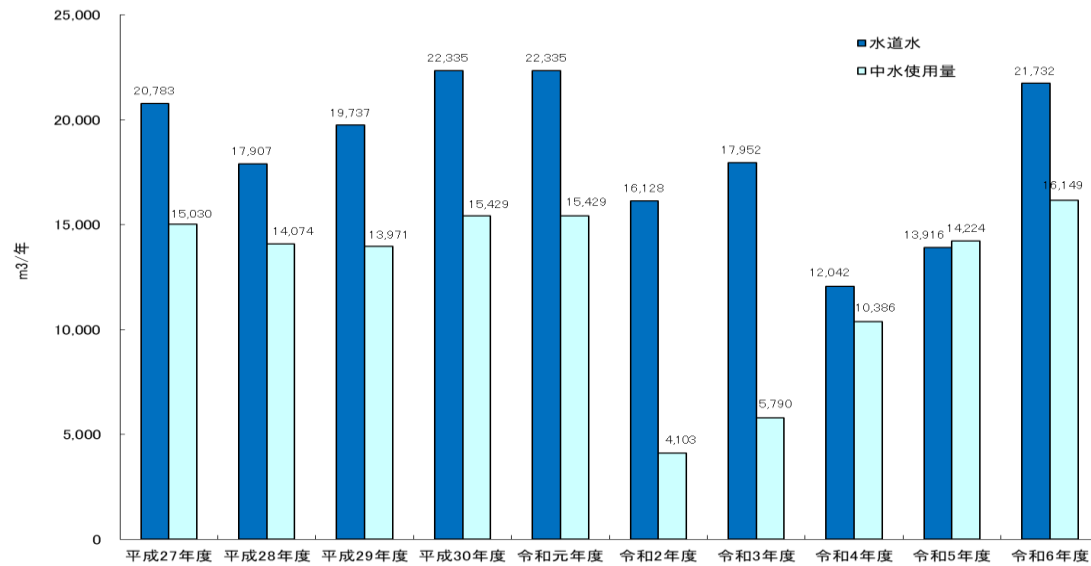
ガソリン使用量の推移(車両) $kl/年$



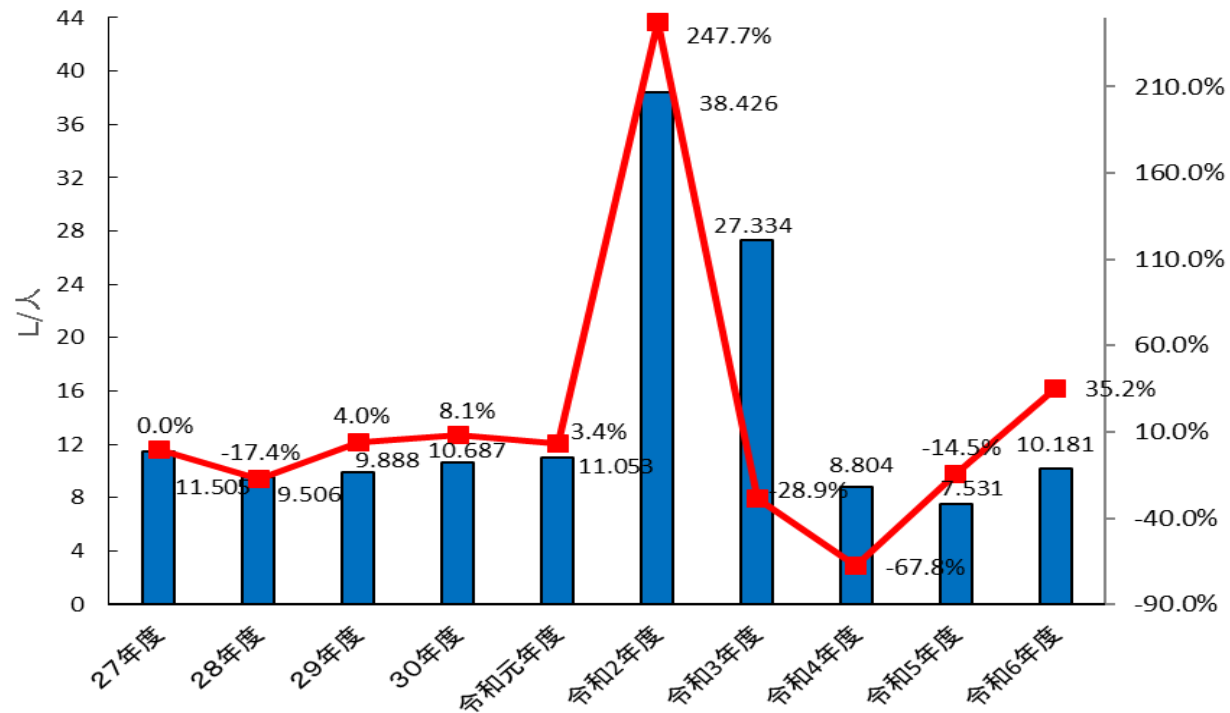
一般廃棄物のリサイクル率の推移 $kl/年$



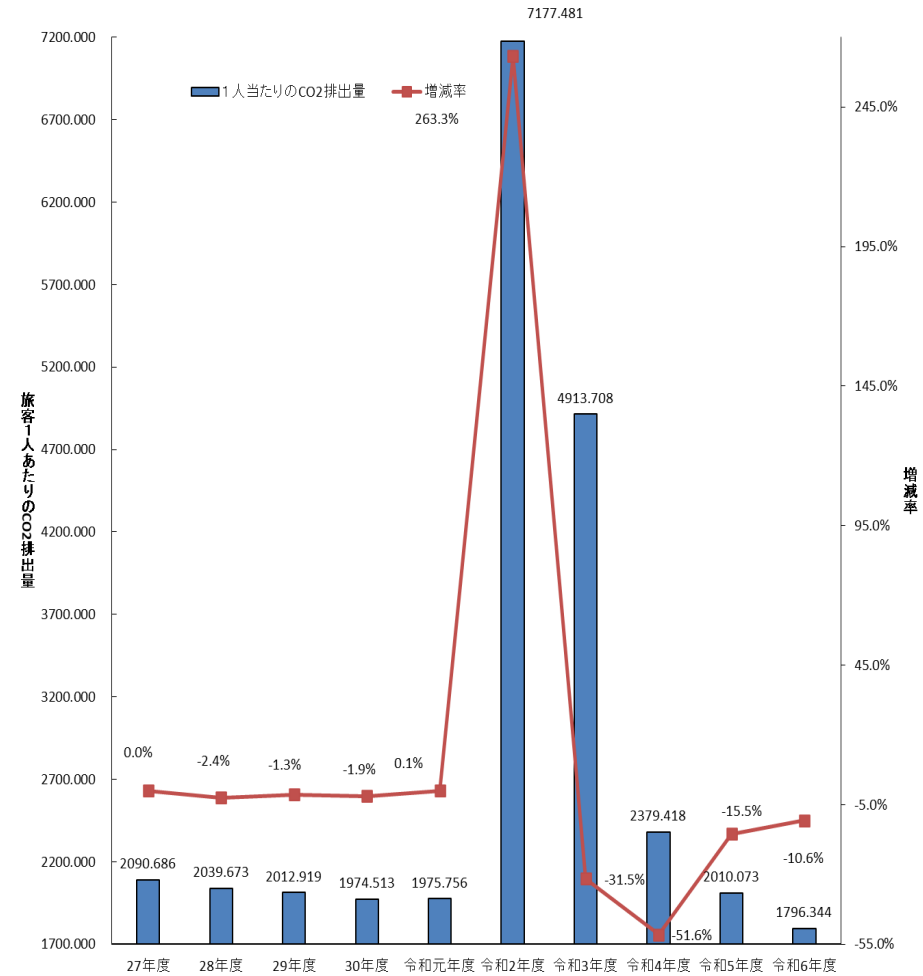
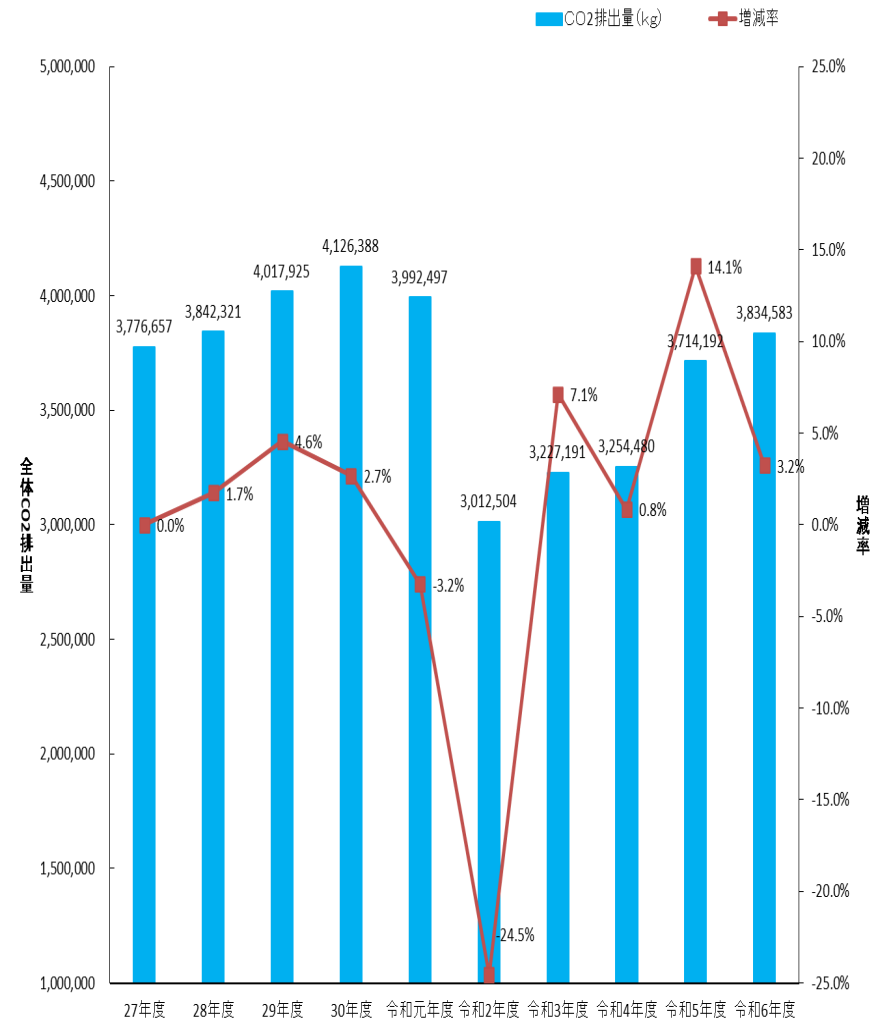
水道使用量



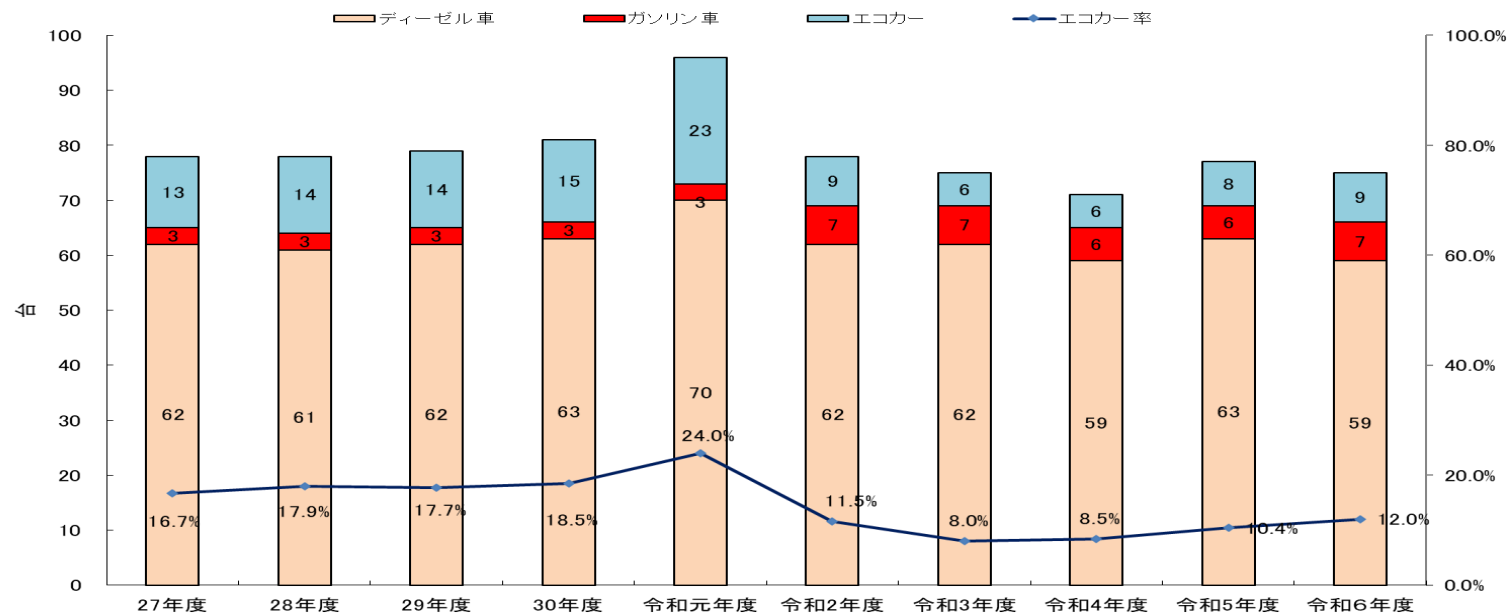
空港旅客者1人あたりの上水使用量



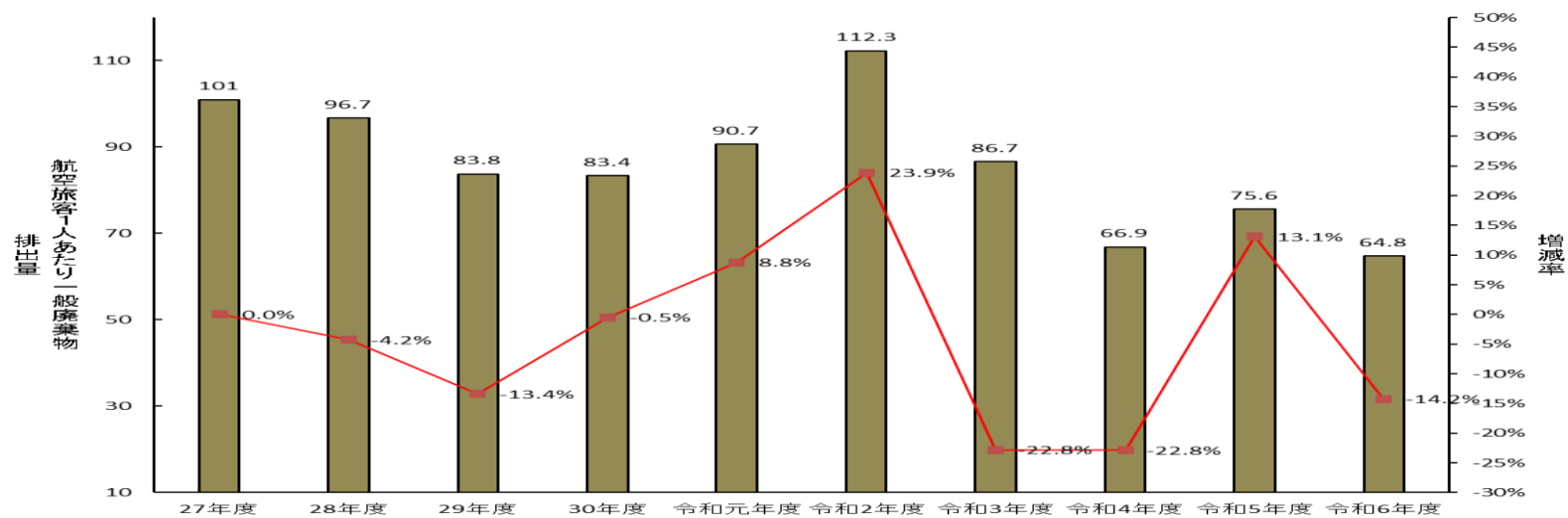
C02排出量



保有車両台数



旅客1人あたりの一般廃棄物排出量の推移



第2次高松空港環境計画における中間評価報告 (概要抜粋)

1.大気・エネルギー

CO2排出量削減にむけて各種取り組んでいるが、空港旅客数増等の要因のため削減量を減少させるにはいたっていない。

2.水・土壌

旅客1人当たりの水使用量は年度により増減はあるがいずれも基準年度を下回っている。上水使用量の更なる削減に向けて組織的な節水活動が重要。

3.廃棄物

旅客1人当たりの発生量は減少しているが令和1年度は再び増加。一方、リサイクル率については基準年度より向上はしているものの、香川県の環境目標と比較すればリサイクル率はまだ低い状態であるため、長寿命製品の使用および3Rすることを考えた行動が必要。

中間評価による目標・施策について

1. 大気・エネルギーについて

エネルギー消費量を15%削減(従来通り)

ただし、政府が発表したカーボンニュートラル・脱炭素社会を目指すと宣言され、航空局において「空港分野におけるCO2削減に関する検討会」でのとりまとめを踏まえ目標値の見直しを行うこととする。

2. 水・土壌

航空旅客1人あたり上水使用量5%削減(従来通り)

3. 廃棄物

航空旅客1人あたり一般廃物処分量を10%削減(従来通り)
一般廃棄物の資源回収率を向上させる